

TAKE
FREE

2020年 春号

vol. 65

向陽台病院の健康情報誌「こもれび」

KOMOREBI

Contents

院長就任

Topics & Data

【部署紹介】

人に寄り添い
地域とつながる相談支援

【プログラム紹介】

子どもたちと大奮闘
『お昼ご飯大作戦!』

【リレーエッセイ】

診療部 医師 宮崎 美菜

【デイケア掲示板】

成人のつどい

【連携医療機関】

藤崎宮前クリニック
井形 るり子 院長

【院内学級ひかり】

院長就任

向陽台病院 院長

ひ え じ ま し げ と
比江島 誠人



2月1日付で院長に就任いたしました比江島誠人（ひえじましげと）です。私は1996年に宮崎医科大学精神医学教室に入局、宮崎医科大学附属病院精神科、宮崎県立富養園、国立肥前療養所（現国立病院機構肥前精神医療センター）、国立病院機構琉球病院で研修・臨床研究に取り組み、2007年に故郷の宮崎に戻り、医療法人ハートピア細見クリニック、医療法人同仁会谷口病院に勤務、縁あって2018年4月1日より向陽台病院およびメンタルクリニック保田窪に勤務させていただくことになりました。

向陽台病院では精神科救急病棟を中心に、メンタルクリニック保田窪では児童・思春期を中心に診療してきました。勤務して最も印象的だったのは医療法人横田会には多職種チームで治療にあたるという文化が根付いていることでした。医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士/公認心理師、作業療法士、事務/医事スタッフの誰か一人が欠けても診療はできません。それぞれの職種が研修等を通して技術を磨き、多職種チームのなかで力を最大限に発揮することが治療の質を高めてくれると思います。皆で頑張るという横田会の文化を大切にしていきたいと考えております。これからもどうぞよろしくをお願いします。

向陽台病院は進化し続ける病院です。

2018年

- 4月 院内学級を開設
合志市と連携協定（市民の精神保健、思春期精神保健の予防・啓発）
- 7月 SMARPP-24を用いた依存症プログラム開始

2019年

- 4月 27床の児童思春期ユニットを31床の児童思春期病棟に改編
- 10月 救急病棟を48床から56床に増床
- 11月 第45回九州集団療法研究会を主催

2020年

- 1月 病院機能評価受審

私が勤務するようになってからの2年足らずの間にこれだけの出来事がありました。より良い精神科医療を実践できるよう変化が必要なのだと思います。

2020年2月、田仲美緒診療部長を委員長としてクロザピン導入検討委員会が結成されました。ガイドラインに沿った統合失調症治療が可能となるよう、これまでのm-ECT（修正型電気けいれん療法）に加えクロザピン治療を導入すべく動き始めました。全ては病院にとって最も大切な患者さんの生活の質を高めるためです。力を合わせていきましょう。

ところで、私は日本精神神経学会と九州アルコール関連問題学会に所属しています。肥前～琉球病院勤務時に薬物・アルコール依存症を専門とし臨床研究に取り組ん



Topics & Data

Topics

1

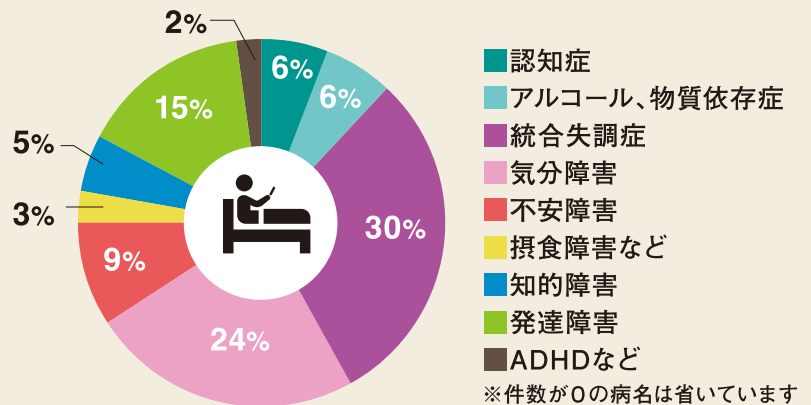
救急病棟の疾患別割合と新しく病院にこられた患者さんの年代別割合

救急病棟では、統合失調症について、気分障害、発達障害の方の入院が多いことがわかります。

新患は20歳未満の方が過半数を超えています。

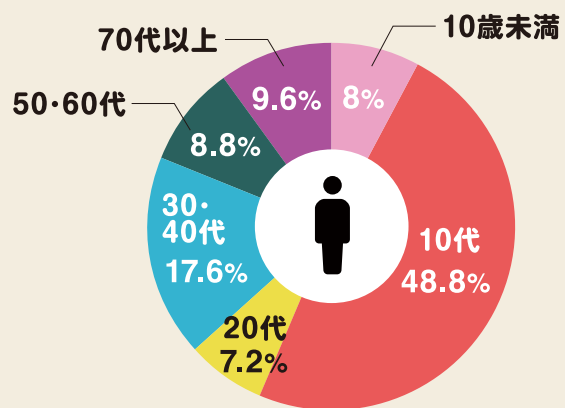
精神科救急病棟入院の疾患別割合

(2019年12月～2020年2月)



新患の年代別割合

(2019年12月～2020年2月)



Topics

2

熊本市長表敬訪問

2019年12月13日、横田理事長と植村法人本部長とで大西一史熊本市長を訪問し、院内学級『ひかり』の経過報告を行いました。今後も熊本市の協力を得ながら、入院中の子どもたちの学びの場の充実に努めていきたいと思っています。



だことで、依存症臨床にやりがいを感じ、また依存症からの回復を信じるようになりました。今回は自己紹介の代わりに、趣味の映画・洋ドラ鑑賞を通じて知った素晴らしい作品に短評を添えて紹介したいと思います。映画のほとんどと『ER』はソフトを所持しています。興味をお持ちの方がおられたら貸し出しますので、気楽に声をかけてください。

今年は日本アルコール関連問題学会が九州で開催されます。九州アルコール関連問題学会の世話人がプログラム委員となりオール九州で取り組んでいます。私は濱本医療コーディネイト部長のサポートを得てゲーム障害に関するシンポジウムを担当しています。2020年7月10日(金)～7月11日(土)、福岡国際会議場の予定です。皆さま一緒に参加しましょう。

映画

『酒とバラの日々』(名作、AAとは?)
『トレインスポッティング』(思春期から青年期への成長、レジリエンスの違い)
『男が女を愛する時』(女性のアルコール依存症。AI-Anonとは?)
『28DAYS(デイズ)』(クリーンになってからの課題とは?)
『レイチェルの結婚』(薬物乱用の背景に潜むトラウマ的体験)
『ビューティフル・ボーイ』(回復を諦めない親子のたたかひの実話)

ドラマ

『ER緊急救命室』(知らない人は少ないかと。シーズン7は依存症に焦点が)
『ザ・ニック』(スティーブン・ソダーバーグ監督! AA誕生日!)
『シカゴメッド』(ERよ再び、精神科が中心に!)

人に寄り添い地域とつながる相談支援

●熊本市障がい者相談支援センターなでしこ

相談支援専門員／精神保健福祉士 山本 歩美

みなさんの周りには、このような
お困りごとをお持ちの方はいらっしゃ
いませんか？

「コミュニケーションが苦手で、職場で
の人づきあいがうまくできない」

「障がいを持ちながらも自立した生活
を送るためには、どうすればいいの？」

「障がいのある子どもの将来が心配だ」

このような時の相談場所の一つに
『熊本市障がい者相談支援センターな
でしこ』（以下『なでしこ』）がありま
す。熊本市障がい者相談支援センター
とは、熊本市の委託事業で市内に9カ
所あり、『なでしこ』は主に北区を担当
しています。場所は、向陽台病院から
南へ車で10分ほど走った北部まちづく
りセンターの近くです。

私たち『なでしこ』では、ご本人やご
家族、関係機関、地域の方からの相談
をお受けしています。具体的には…

【相談対象】身体・知的・精神・発達障
がい、難病をお持ちの方。年齢や障が
い者手帳の有無などは問いません。

【相談方法】電話やメールでのやりと
り、ご自宅や事業所への訪問、直接お
越しいただくなど、柔軟に対応しており
ます。

【相談内容】障がいや疾病、障がい福
祉サービス、お金の管理、働き方、人
間関係の悩み、医療機関への受診、余
暇の過ごし方など、さまざまな困りご
とに対して、必要な手続きのお手伝い
や専門機関の紹介、関係機関との連



絡調整などを行います。

また相談支援のほかにも、障がいをお
持ちの方が安心して暮らせる地域づ
くりの一環として、「なでしこコミュニ
ティクラブ」の開催や北区子どもまつ
りへの参加など、障がいへの理解を深
める啓発活動も行っています。

熊本市による障がい者相談支援セ
ンターの事業が始まり、この春で丸5
年が経ちます。この間、少しずつ地域
からの相談も増え、信頼やつながりが
深まってきました。しかし、まだまだ私
たちの取り組みが足りないと感じるこ
ともあります。ひとりでも多くの方が地
域で安心した生活を送れるよう、これ
からも人に寄り添い地域とつながる
『なでしこ』を目指していきます。

最後に余談ですが、昨年末、医療法
人横田会で開催した「おもしろ写真コ

ンテスト」で、なんと大賞を受賞しまし
た！撮影場所は、熊本市田原坂西南戦
争記念資料館内の西南戦争衣装コー
ナー。軍服や看護師の衣装（貸出無
料！）を身につけ楽しく撮影をしまし
た。日ごろ地域をまわることが多い『な
でしこ』ならではの一枚が撮れたと思
います。第2回も大賞を狙っています！



**熊本市障がい者相談支援センター
なでしこ**

熊本市北区下硯川町480-1（ドレミ村内）
TEL: (096)342-4173 FAX: (096)342-4174

子どもたちと大奮闘 『お昼ご飯大作戦!』

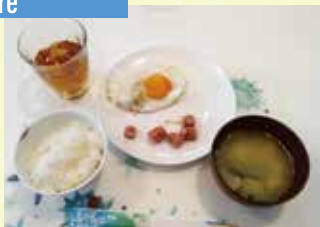
●臨床心理士 主任 杉本 千佳子

トン、トントン、トン、トントン…
コンコンッ、ジュ、ジュワー…
毎週水曜日のお昼どき、メンタルクリニック保田窪の2階には、美味しい音とにおいが広がります。

クリニックに通院中の小学生から高校生を対象に、週1回ショートケア(10:30~13:30)を開催しています。家から出るきっかけづくりに、登校練習の中休みに、学校が休みの日に…と、利用の目的はさまざま。毎回6~7人が参加します。

プログラムは『お昼ご飯づくり』。2年半前に立ち上げた当初は、ご飯を炊いてお味噌汁を作って目玉焼きを作るのが精一杯だったのですが、みんなの料理の腕も上がり、今では具材からちらし寿司を作ったり、手作りシュウマイに挑戦したり、冷蔵庫の余り物でメニューを考えたり、とバリエーションも広がってきました。

Before



After



- ① 自己紹介
- ② 認知作業トレーニング
- ③ メニュー・材料の確認
- ④ 近くのスーパーへ買い物
- ⑤ 調理開始
- ⑥ 実食
- ⑦ 後片付け
- ⑧ 終わりの会

みじん切りの達人がいたり、几帳面にこつこつ作業をするのが得意な子がいたり、レシピを自分で確認しながら作業を進める子がいたり、スープの味付け名人がいたり、とそれぞれの持ち味を活かして役割分担をしています。食後は、「洗う係」「流す係」「台拭き係」など持ち場を決め、見事なフォーメーションでみるみるうちに片付けていきます。流し台の中に置かれた食器を種類ごとに分けて手際よく洗っていく様子を、スタッフはほれほれして眺めています。

空いた時間はみんなで大富豪大会をしたり、好きなアニメの話で盛り上がったたり、ゲームがいかにも面白いかのレクチャーをしてくれたり、思い思いに過ごします。

“食べることは生きること”

人と関わるのは楽しいけどちょっぴり勇気がいります。自由に雑談するのが苦手な私みたいなタイプには、手を動かしながら共に過ごすほうがなんとなく気が楽です。料理をしながら人と関わる中で、心の居場所を見つけてくれたらいいなあと思っています。

そよ風 家族会

南3病棟 看護師

内村 亜由美

2020年2月22日(土)にそよ風家族会が開催されました。熊本でも新型コロナウイルスの感染が確認され、雨で足元が悪い中、ご家族9名が参加されました。今回は、2グループに分かれて日頃の心配やこれまでの経過を語り合いました。少人数でしたが、時間が足りないくらいとても盛り上がりしました。

入院に至るまでの家族の苦悩を分かち合い、『悩んでいるのは自分ひとりではない』と感じられたのではないのでしょうか。

会の中で「今まではこうなさい、あしなさいと言っていた。話を聞くように対応を変えたら、本人が落ち着くようになった。今、とても幸せです」と話されたことがとても印象に残りました。子どものことを思う親だからこそ、理想を押しつけてしまいがちですが、いちばん大切なことは子どもの思いに耳を傾けること・批判せず話を聞いてあげることだと改めて感じました。しかし、頭ではわかってはいるけれど、なかなかできていないことかもしれません。

また、「ここに来て話をすると肩の荷がおりる」「この会に来てなかったら、子どもに暴言吐いていたかも」とお話がありました。家族会に足を運ぶことがご家族にとって心の支えや居場所になっているように、私たちスタッフにとってもご家族の率直な気持ちに触れることができる貴重な学びの時間となっています。一人ひとりのところに寄り添う看護を目指し、原点に戻って日々の関わりを見つめなおしたいと思います。

家族会が終わるころには雨が上がり、ご家族のころにも晴れ間がみえたようでした。



さまざまな視点から 東京2020を見る

診療部 医師 宮崎 美菜

いよいよ今年は東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。連日テレビやラジオではさまざまな視点からその話題について報道されています。今回はその中で私が特に印象に残っていることを2つご紹介したいと思います。

まず1つ目はオリンピックについての話題ですが、サッカー日本代表選手の新ユニフォームをご覧になりましたか。今回のユニフォームには「アンビグラム」が採用されたことで話題になりました。



アンビグラムとは、ある文字を本来の向きだけではなく逆さにするなどの違う見方をしても読める文字のことです。男子のユニフォームには「日本晴れ」をいう文字がデザインされていますが、逆さにすると「侍魂」という文字が浮かび上がります。女子は「撫子魂」になるそうです。



2つ目はパラリンピックについての話題です。今回東京はパラリンピックを2度開催する世界

初の都市になります。なぜならパラリンピックという名称が初めて使用されたのは1964年の東京五輪だからです。そして日本のパラリンピックの父と呼ばれる人物は別府生まれの中村裕医師だと言われています。当時中村医師は脊髄損傷の患者の治療やリハビリテーションの研究を行っていましたが、1960年に研究生として欧米に派遣されます。そこで障害者が車椅子に座ってバスケットボールをしているのを見て衝撃を受け、東京で世界初のパラリンピックの開催に向けて奔走することになります。しかし当時はリハビリテーションという言葉は一般的ではなく、障がい者がスポーツをすることにも理解は乏しく、多くの批判を浴びました。それでも世界初のパラリンピックは成功しました。時は流れて2020年、パラリンピックはオリンピックと同様に世界に浸透しつつあるように思いますが、障がい者に対して世間の偏見は未だに根強いと感じることもあります。しかし過去を振り返れば、偏見という壁は乗り越えられないものではないと思います。

最後に私もアンビグラムを作成してみました。「ひかり」を逆さまにすると「いきる」と読めるでしょうか。東京2020が未来を照らす光になり、生きる希望になることを祈っています。

ひかり

いきる

デイケア掲示板

成人のつどい

精神保健福祉士 大池 麻友

現在、思春期ヤンググループには10代から20代のメンバーが所属しており、その中には地元の成人式へ参加しなかった・できなかった人がいます。メンバーからデイケアで成人式をしてみないかという意見が挙がり、企画を進めていくことになりました。

式の内容や構成、会場の配置など全てメンバーを中心に、試行錯誤しながら決めていきました。

1月10日成人式当日。浦田センター長の挨拶に始まり、デイケアスタッフから歌のサプライズ、新成人の挨拶、サポートメンバーからメッセージ、絵の得意なメンバーによるライブペイント、創作ダンスの披露、音楽・コーラスのプログラムに参加する



メンバーからの歌の贈り物、音楽活動を行っているメンバーによる歌の発表など、盛りだくさんの内容になりました。新成人の挨拶では一人ひとりがこれまでや今後の目標などを自分の言葉で伝え、保護者やデイケアメンバー、スタッフを涙ぐませる場面もありました。

式後、ヤングメンバーからは「今日の式はこのメンバーだったからできた。楽しかった」「緊張したけど感動した」などの感想を聞くことができました。

私が思春期ヤンググループのメンバーと活動を共にして約1年。メンバーの主体性の高さに驚き、こちらが勉強させていただくことがたくさんありました。今回の成人式でも同様、一生懸命に企画する姿からパワーをもらうことができました。さっそく来年度成人するメンバーから「来年も企画したい」との声も上がっています。来年も乞うご期待！



連携医療機関

このコーナーでは、向陽台病院の連携医療機関の先生や関連施設の方にご登場いただきます。

第5回



藤崎宮前クリニック

井形るり子 院長

昨年11月で丸3年となりました心療内科精神科クリニックです。熊本市で精神保健福祉行政の仕事は15年。その後、くまもと青明病院に2年半勤務し、2016年11月より開業いたしました。ご存知の方も多いと思いますが、以前この欄にも登場された宮谷先生が光の森に移られた時、ご紹介いただき、その後同じ場所で開業しております。熊本市に勤務している頃から、横田先生に思春期精神保健の講演をお願いしたり、心理の植村先生にご相談したり、向陽台病院は身近で頼りになる病院でした。

さて、一人で開業するとなると、思っていた以上にストレスが溜まります。実は熊本市の「こころの健康センター」の所長時代も診療所の開設者という立場だったのですが、実際の診療とは違い、外に出ることが多かったし、周囲に相談できる人も多く、ストレス発散できていました。そこで、今は文化系と体育会系の二つの趣味というか習い事をするようにしています。文化系は、学生時代コーラス部に所属しており皆と歌うことが大好きだったので、3年前からゴスペルを、体育会系は、こちらはもう10年程になりますが、小さい頃習いたくてしょうがなかったクラシックバレエに、週2回は行くようにしています。私がストレス発散する分、家族にはストレスをかけていると思いますが、こころよく協力してくれています。心身の健康を保ちながら、末永く頑張りますので、今後ともよろしくお願いします。



院内学級 ひかり

月日
曜日

思春期イベント

児童思春期病棟で毎月行っている「思春期イベント」。
1、2月は院内学級とコラボし、
一味違った「思春期イベント」となりました。

1月 プラネタリウム

八代市のさかもと八竜天文台から出張プラネタリウムに来てもらいました。

プラネタリウム用のテントは、台長さんの手作りだそうで、あっという間に膨らみます。膨らんだテントの中で、学芸員さんを中心にみんな体育座りをして星の名前や星座にまつわる神話を教えてもらいました。いつもはおしゃべりが止まらない子どもたちも、静かに見たり聞いたり、たまに笑いが起きたりと、とてもステキな時間でした。次回は、台長さんが作成中の巨大テントの中で鑑賞したいな～と思っています。

(松村 愛弓)

2月 NPO法人OnPalによる演奏会

ピアノ、オーボエ、バイオリン、チェロの他、ストローオーボエや水笛など珍しい楽器に子どもたちも大人も興味津々!クイズ



形式で楽器の仕組みについて学び、病棟は素敵な音色に包まれ、癒やしの時間はあっという間に過ぎていきました。最後は子どもたちの中から選出した実行委員が手づくり感謝状をプレゼントし、大変喜んでいただきました。子どもたちからは「あんなに弾けたらカッコいいな」「次は合奏にチャレンジしてみたい」などの感想があり、次回が待ち遠しい様子です。これからもさまざまな体験の場を提供できるよう、イベントを発展させていきたいと思っています。

(長尾 香奈)

地域連携室からのお知らせ

初診予約専用ダイヤルを新しく設置

初めての方、1年以上受診されていない方の受診のご相談は、こちらの番号におかけください。

● 初診予約専用ダイヤル
096-272-0908

● 予約受付時間:
月～金曜日 9:00～16:30

初診予約の受付、待機状況については、ホームページの「お知らせ」で最新情報をご確認ください。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

動向を探る

向陽台病院を利用されている患者さんの2019年12月～2020年2月の動向を掲載しています。

集 計 月	2019年 12月	2020年 1月	2020年 2月
外来延数	2,455	2,387	2,293
新 患 者	50	38	37
1か月ごとの入院患者数			
入 院	36	37	30
退 院	32	31	26

編集後記

連日、新型コロナウイルスのニュースに翻弄される日々。

正体ははっきりせず、封じ込める方法もわからない中では、人はこんなにも不安になるのだなあ、と改めて感じます。「見立て（何が問題か明らかにする）」と「手立て（具体的に対処の作戦を立てる）」の大事さを噛み締めているところです。

こんな時は不安になって当然。不安だよねー、と認めつつ、ささやかな“ホッとする時間”を探したいと思います。まずは、おいしいコーヒーでも淹れてみようかしら。

(杉本千佳子)

「こもれび」に関するご意見・感想をお待ちしています!

私たちは「こもれび」をとおして、皆さまに役立つ情報をお届けできればと作成しています。皆さまの率直なご意見をお聞かせください。

(向陽台病院 広報委員会)

診察のごあんない (2020年4月現在)

月	火	水	木	金
新堀	比江島	田仲	山脇	田仲
宮崎	田仲	末永	牧〔隔週〕 横田〔見〕〔隔週〕	横田〔周〕
	加藤	横田〔周〕	長田	

※担当医は予告なく変更になる場合がございます

祝日は外来をお休みします

- 診療科目：精神科・心療内科・児童精神科
- 病床数：198床
- 外来診療時間：月～金曜日 9時40分～16時
- 外来休診日：祝・土・日曜日

初めて受診される方へ

当院は予約制です。初めての方は、地域連携室へお電話ください。☎ 096-272-0908 (初診予約専用ダイヤル)

※地域連携室直通 (096-272-5250) は業務用となります。

電話の際、①お名前 ②相談内容 ③連絡先などをおうかがいし、予定の日時を決めます。

当日の所要時間は問診や診察、検査などを含め、2時間程度とお考えください。

病院理念

私たち向陽台病院は、地域医療のなかで安全で効果的な精神科医療を提供するために、職員の知恵を結集し、迅速かつ包容力のある対応ができる病院を目指します。

患者さんの権利

1. 良質な医療サービスを平等に受ける権利があります。
 2. 人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります。
 3. 自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
 4. 医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを自分で決定する権利があります。
- また、他の医療機関の医師の意見 (セカンド・オピニオン) を求める権利があります。
5. プライバシーを尊重される権利があります。

交通アクセス

🚌【産交バス】向坂バス停から徒歩3分 投刀塚バス停から徒歩3分

🚗【車】植木ICから15分 北熊本スマートICから10分

🚆【JR】植木駅下車 → タクシーで6分



医療法人横田会 向陽台病院

熊本県熊本市北区植木町鐙田1025 tel. 096-272-7211



当院は「情報公開レベル優良施設」として、はとはあと評価 (認定3/Stage-1) の第三者評価認定を受けています。



当院は、2005年から財団法人日本医療機能評価機構の認定を受け、2015年1月に3rdG:ver1.0で再認定されました。

●日本精神神経学会専門医研修指定病院

●日本精神科病院協会認定専門医研修病院



上のQRコードをQRコード対応携帯で読み込むと向陽台病院携帯サイトにアクセスできます。